

6年—Unit 2 単元名 Welcome to Japan. 日本の文化

1. 単元目標

- ・日本の行事や食べ物などについて、聞いたり言ったりすることができる。(知識及び技能)
- ・日本の行事や食べ物や、自分が好きな日本文化について伝え合ったり、例を参考に語順を意識しながら書いたりする。(思考力, 判断力, 表現力等)
- ・他者に配慮しながら, 日本文化について伝え合おうとする。(学びに向う力, 人間性等)

2. 言語材料

- Welcome to Japan. In (summer), we have (fireworks festival). What [food / games] do you have in Japan? We have [soba / fukuwarai]. It's [delicious / fun]. You can enjoy [rakugo / hanami / tempura].
 - we, culture, temple, castle, firework, popular, traditional, 日本の行事 (snow festival), 味覚 (sweet, bitter, sour, salty, spicy), soft, hard, chips
- [既出] 状態・気持ち, スポーツ, 飲食物, 季節, 月, 日本の行事, girl, welcome, enjoy

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ウ ゆっくりはっきりと話されれば, 日常生活に関する身近で簡単な事柄について, 短い話の概要を捉えることができるようにする。
話すこと (やり取り)	イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について, 自分の考えや気持ちなどを, 簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。
書くこと	イ 自分のことや身近で簡単な事柄について, 例文を参考に, 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

4. 単元計画 (8時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【】, ○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆それぞれの行事でどんなことが楽しめるかを聞いたり言ったりすることができる。</p> <p>○Small Talk : 好きな季節とその理由 【Let's Watch and Think 1】 p.12</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物 (外国の子供たち) が自国のことについて話している映像を視聴し, 各国の行事や食べ物などの話の内容に合うように, 誌面上のイラストを線で結ぶ。 ・2回程度繰り返して聞いた後に, 答えを確認する。 ・指導者の質問に答えたり, 指導者の後に続けて言ったりして答えを確認する。 <p>○Three-Hint Quiz</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3つのヒントを聞いて, ヒントに合う行事や祭りを考えて発表する。 <p>○ポインティング・ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が言う行事や祭りに関する文を聞いて, それがどの季節かを考え, 誌面にある該当する季節をさし示す。 <p>○季節に楽しめることを言おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3~4人で1グループになり, 児童用テキスト p.6 Let's Play 3 の四季のイラストを使って行う。順番を決め, spring から1人ずつ1つの季節に楽しめることを言っていく。 <p>【Let's Read and Write】 p.16 書く文例 : You can enjoy (hanami) in (spring).</p>	◎各季節で楽しめることを聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検>

	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材の音声を聞きながら読んだ（言った）後，ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 <p>○単元の終末の活動を知る。</p>	
2	<p>◆日本の行事についてまとまりのある話を聞き，それらが行われる季節や楽しめることなどが分かる。</p> <p>◆日本の行事について，行われる季節とそれがどのような季節かについて言うことができる。</p> <p>【Let's Play 1】 Three-Hint Quiz p.10, 11</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者が出すヒントを聞いて，行事名を答える。 <p>【Let's Play 2】 Key-Word Game p.10, 11</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者が言う文を繰り返して言う。あらかじめ決めておいたキーワード(感想)が言われた場合は，繰り返さず，ペアの間に置いた消しゴムを取る。 <p>【Let's Watch and Think 1】 p.12</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1時と同様に，別の2人の登場人物が自国のことについて話している映像を視聴し，各国の行事や食べ物などの話の内容に合うように，誌面上の絵を線で結ぶ。 2回程度繰り返して聞いた後に，答えを確認する。 <p>【Let's Listen 1】 p.12</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の四季における行事や祭りについての話を聞く。1回目は児童用テキストを閉じて聞く。 2回目は児童用テキストを見ながら聞き，内容に合うように口に番号を書く。 <p>【Let's Chant】 Welcome to Japan. p.13</p> <p>○どの季節にどの行事や祭りをするか考えて言おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 進め方を理解し，ペアで行う。 <p>【Let's Read and Write】 p.16</p> <p>書く文例：We have (snow festivals).</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声を聞きながら読んだ（言った）後，ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 <p>○Sounds and Letters (d)</p>	<p>◎日本の行事についてまとまりのある話を聞き，それらが行われる季節や楽しめることなどが分かり,番号を記入している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎日本の行事について，それがどの季節に行われるかを言っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
3	<p>◆食べ物とその味覚などについて話を聞いて，その内容が分かったり，言ったりすることができる。</p> <p>○Small Talk：好きな日本の行事とその理由</p> <p>【Let's Watch and Think 2】 p.13</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材で音声を聞き，日本食について分かったことを誌面に記入する。 答えを確認する。 <p>【Let's Chant】 Welcome to Japan. p.13</p> <p>○マッチング・ゲーム</p> <p>【Let's Listen 2】 p.13</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材を視聴し，分かったことを誌面の表に記入する。 <p>【Let's Read and Write】 p.16</p> <p>書く文例：We have (<i>sushi</i>).</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声を聞きながら読んだ（言った）後，ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 	<p>◎食べ物とその味覚を言っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎登場人物の話を聞いて，食べ物とその味覚など分かったことを書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>

4	<p>◆日本の食べ物について、その味覚やその食べ物に関してできることを話す。</p> <p>【Let's Chant】 Welcome to Japan. p.13 ・デジタル教材を視聴しながら、音声に続いてチャンツを言う。</p> <p>【Let's Watch and Think 3】 p.14 ・映像資料の音声のみを数回聞いて、内容に合うように線で結んだり、分かったことを誌面に記入したりする。視聴後、解答を確認する。</p> <p>○マッチング・ゲーム</p> <p>【Let's Read and Write】 p.16 書く文例: It's (delicious). ・音声を聞きながら読んだ（言った）後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。</p> <p>○Sounds and Letters (f)</p>	<p>◎好きな食べ物とその味覚、その食べ物に関してできることを話している。 <行動観察・振り返りカード点検></p>
5	<p>◆日本の遊びについての話を聞いて内容が分かる。 ◆好きな日本の遊びについて伝え合う。</p> <p>【Let's Chant】 Welcome to Japan. p.13 【Let's Watch and Think 4】 p.14 ・1回目は、児童用テキストを閉じて聞く。 ・2回目は、誌面を見ながら聞き、内容に合うように○や△などを記入する。 ・3回目に映像資料を視聴する。</p> <p>○Let's Talk ・指導者による行事の紹介を聞きそれについての質問に答える。 ・自分が紹介したい行事を選び、どのような内容を話すかを準備・整理し、ペアで対話する。</p> <p>【Let's Read and Write】 p.16 書く文章： We have (<i>shogi</i>). ・音声を聞きながら読んだ（言った）後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。</p>	<p>◎日本の遊びには何があるか、その遊びが得意かどうかなどを聞いて、誌面に○や△を記入している。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検></p> <p>◎日本の行事やその行事で楽しめることなどについて伝え合っている。<行動観察・振り返りカード点検></p>
6	<p>◆好きな日本の食べ物について伝え合う。</p> <p>【Let's Chant】 Welcome to Japan. p.13 ・デジタル教材に合わせてチャンツを言う。</p> <p>【Let's Watch and Think 5】 p.15 ・1回目は、児童用テキストを閉じて聞く。 ・2回目は、児童用テキストを見ながら聞き、分かったことを書く。 ・3回目に映像資料を視聴する。</p> <p>○Let's Talk ・指導者による食べ物の紹介を聞き、それについての質問に答える。 ・自分が紹介したい食べ物を選び、どのような内容を話すかを準備・整理し、ペアで対話する。</p> <p>【Let's Read and Write】 p.16 書く文例: We have (<i>kabuki</i>) . ・デジタル教材の音声を聞きながら読んだ（言った）後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。</p> <p>○Sounds and Letters (g)</p>	<p>◎好きな日本の食べ物とその味覚などについて伝え合っている。<行動観察・振り返りカード点検></p>

7	<p>◆紹介したい日本文化について、その名称や特徴などを表す語を、例を参考に書く。</p> <p>○Small Talk : 好きな/見てみたい日本の伝統芸能・文化とその理由 【Let's Watch and Think 6】 p.15</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材を視聴し、指導者の質問に答える。 <p>【Activity】 p.16</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアになり、何を紹介するのかを考える。児童用テキストやワークシートなどにある今まで学習した表現を理解し、ポスター作成に役立てる。 ポスターを作る。 ポスターを使いながら日本を紹介する練習をする。 ワークシートなどをもとに、ペアでオリジナルなものを作る。 	<p>◎紹介したい日本文化について、その名称や特徴などを表す語を、例を参考に書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
8	<p>◆日本の行事、食べ物、遊びなどを紹介したり、例を参考に紹介文を書いたりする。</p> <p>◆日本の行事、食べ物、遊びなどを紹介したり、例を参考に紹介文を書いたりしようとする。</p> <p>【Activity】 p.16</p> <ul style="list-style-type: none"> 作成したポスターを使い、日本紹介を行う。 1人で、または2人1組で行う。 <p>○Let's Write</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートやポスターを参考に、前活動で日本について紹介したことを書く。 <p>【STORY TIME】 p.17</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材でライム（押韻）の単語とそれらが含まれる文を2～3回聞く。 音声の後に続いて言う。 	<p>◎他者に配慮しながら、紹介したい日本の行事、食べ物、遊びなどについて話している。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎紹介した日本の行事、食べ物、遊びなどについて、語順を意識しながら例を参考に書いている。〈行動観察・記述観察・振り返りカード点検〉</p>

6年 Unit 2-Lesson 1 単元名 Welcome to Japan. 日本の文化 1/8時間

目 標 それぞれの行事でどんなことが楽しめるかを聞いたり言ったりすることができる。

準 備 児童用テキスト, ワークシート(Unit 2-1), デジタル教材, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
8分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 <p>○Small Talk : 好きな季節とその理由</p> <p>S1: What season do you like? S2: I like winter. S1: You like winter. I see. Why? S2: I like snow. How about you? What season do you like? ...</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶し個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。 ・指導者が自分の好きな校内の場所とその理由を簡単に紹介し, ペアで対話をさせる。 ・1回目活動→指導→2回目活動(1回目と違う相手) <p>※Small Talk の指導の具体や発話例については, 「研修ガイドブック」 p.84, 85 を参照。</p>	
8分	<p>【Let's Watch and Think 1】 p.12</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物(外国の子供たち)が自国のことについて話している映像を視聴し, 各国の行事や食べ物などの話の内容に合うように, 誌面上の絵を線で結ぶ。 ・2回程度繰り返して聞いた後に, 答えを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Let's Watch and Think 1 は, 第1時と第2時の両方で扱う。第1時では前半(ブラジルの Sophia とインドの Laksh), 第2時では後半(エジプトの Muhammad とオーストラリアの John) をそれぞれ視聴する。 ・単なる聞き取りの練習にならないようにするために, 音声を聞かせる前に, 「ブラジルの行事といえば何だと思うか」「Laksh はどこの国出身だと思うか」など問い, 予想をさせてから聞かせるようにする。 ・音声を聞かせる際は, 1回目は全体を通じて, 2回目は区切って聞かせるなど, 児童の様子に応じて聞かせ方を工夫する。 ・聞かせた後は, 内容について Do you know a carnival in Rio? Do you like curry and rice? など, 内容について児童とやり取りをし, 内容をより理解できるようにするとよい。 <p>T: Let's listen to the talk.</p>	デジタル教材 児童用テキスト
		<p>ソフィア: Hello. Welcome to Brazil. I'm Sophia. Nice to see you again. Every year we have a carnival in Rio de Janeiro in Brazil. You can enjoy dancing. You can see beautiful costumes, too! It's exciting!</p> <p>ラクシュ: Hello. Welcome to India. I'm Laksh. Nice to meet you. We have curry and nan in India. You can eat spicy curry and nan. It's delicious! Why don't you try it?</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者の質問に答えたり, 指導者の後に続けて言ったりして答えを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・答えの確認は, 次のように指導者の後に続けて言わせる形で行うとよい。 <p>T: I have some questions about Sophia. Where is she from? She is from ...? How about Laksh? She is from ...? Right, India. ... Now what can you enjoy in Brazil? Right, you can enjoy dancing. ...</p>	
7分	<p>○Three-Hint Quiz</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3つのヒントを聞いて, ヒントに 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の行事や祭りについて Three-Hint Quiz をすることを告げる。 	児童用テキスト

	<p>合う行事や祭りを考えて発表する。</p> <p>月と行事の例 January : New Year's Day(s) February : <i>Setsubun</i> March : Dolls' Festival April : <i>Hanami</i> May : Mother's Day June : Father's Day July : Star Festival August : Fireworks Festival October : <i>Momijigari</i> November : <i>Shichigosan</i> December : New Year's Eve</p>	<p>T: Let's enjoy Three-Hint Quiz. I'll give you three hints about an event or a festival in Japan. Please guess what it is.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事に関する3つのヒント（開催される季節，月日，楽しめること）を出す。 	
		<p>ヒント例</p> <p>Hint 1: We have this event in spring. Hint 2: You can enjoy watching beautiful cherry blossoms. Hint 3: It's from the end of March to May. 回答: <i>Hanami</i></p> <p>Hint 1: We have this event in summer. Hint 2: You can enjoy watching fireworks. Hint 3: It's on July 7th / in July or in August. 回答: Star Festival</p> <p>Hint 1: We have this event in autumn / fall. Hint 2: We can enjoy beautiful leaves. Hint 3: It's from October to December. 回答: <i>Momijigari</i>.</p> <p>Hint 1: We have this event in winter. Hint 2: You can enjoy special foods. Hint 3: It's from January 1st to January 3rd. 回答: New Year's Days / <i>oshogatsu</i>.</p>	
		<p>・ここで紹介する行事や祭りは一例であり，児童の実態に応じて，身近な地域の行事や祭りを取り上げるとよい。</p>	
<p>5分</p>	<p>○ポインティング・ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童用テキスト p.6 Let's Play 3にある四季のイラストを使ってペアでゲームを行う。 ・指導者が言う行事や祭りに関する文を聞いて，それがどの季節かを考え，誌面にある該当する季節をさし示す。 ・最初は2人で確認しながら指さす。慣れてきたら，早くさし示した方が勝ちにしてもよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ You can enjoy ~ in (season). で，さまざまな行事や祭りを言う。この活動のねらいは，この表現を児童が何度も聞いたり言ったりして慣れ親しむことであるため，指導者はテンポよく言うことに加え，全児童がしっかり繰り返し言っていることを確認しながら行うようにする。 <p>例</p> <p>Spring : You can enjoy <i>hanami</i> / Dolls' Festival / beautiful green leaves. Summer : You can enjoy fireworks / camping / swimming. Autumn / Fall: You can enjoy <i>momijigari</i> / full moon / hiking. Winter : You can enjoy snow / skiing / skating / snow festivals.</p>	<p>デジタル教材 児童用テキスト</p>
<p>8分</p>	<p>○季節に楽しめることを言おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3~4人で1グループになり，児童用テキスト p.6 Let's Play 3の四季のイラストを使って行う。順を決め，springから1人ずつ各季節に楽しめることを言っていく。分からなかったらパスをしてもよい。制限時間内にグループでいくつ文が言えたかを競う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで前活動を参考に，各季節で楽しめることを言っていくよう告げる。順を決め，spring→summer→autumn / fall→winterの順に言っていく。制限時間をまず3分とし，その時間内にいくつ文が言えたかを尋ねる。この活動のねらいは，季節に楽しめることを表す表現に慣れ親しむことである。 ・2回目を始める前に，1回目で言いたかったがどう表現してよいか分からなかったことはなかったかを尋ね，それを既習語彙や表現で言い表せないかをクラスに問いかけ，それらの表し方を児童と一緒に考える。既習語 	<p>児童用テキスト</p>

	<p>S1: You can enjoy <i>hanami</i> in spring.</p> <p>S2: You can enjoy swimming in summer.</p> <p>S3: You can enjoy eating <i>matsutake</i> in autumn / fall.</p>	<p>彙や表現で言い表すのが困難な場合は、指導者がその場で英語で表現できれば提示するが、困難な場合は、次時に知らせることを告げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループのメンバーを替えて、2回目を行う。 <p>◎各季節で楽しめることを聞いたり言ったりしている。</p> <p>〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
5分	<p>【Let's Read and Write】 p.16</p> <p>書く文例: You can enjoy (<i>hanami</i>) in (spring).</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材の音声を聞きながら読んだ(言った)後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時に何度も聞いたり言ったりした文を次のような流れでワークシートに書き写させる。 <ol style="list-style-type: none"> ① デジタル教材で1文の音声を聞く。 ② ワークシートの1文を見ながら再度聞く。 ③ ワークシートの1文を読む。 ④ ワークシートの下にある語群から楽しめることと季節の言葉を選んでワークシートの4線の上に書き写す。 <p>T: Please listen to the sentences and look at the sentences on the worksheet. Listen to the sentences again and read them. Choose the words from the word box and write them down.</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 2-1)
4分	<p>○単元の終末の活動を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の終末では、日本について紹介するガイドブックを作ることを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者は、行事や食べ物について書いた紹介文を提示するなどして、単元終末の活動への見通しや意欲をもてるようにする。 ・「新しい(日本についてあまり知らない)ALTのためにガイドブックを作ろう」「市の観光案内所にプレゼントしよう」など、児童が目的意識や相手意識をもって学習に取り組めるようにするとよい。 <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 	振り返りカード

<p>6年 Unit 2-Lesson 2 単元名 Welcome to Japan. 日本の文化 2/8時間</p> <p>目 標 日本の行事についてまとまりのある話を聞き、それらが行われる季節や楽しめることなどが分かる。 日本の行事について、行われる季節とそれがどのような季節かについて言うことができる。</p> <p>準 備 教師用カード (状態・気持ち, 季節, 行事・祭り), 児童用カード (季節, 行事・祭り), デジタル教材, 児童用テキスト, ワークシート (Unit 2-2, 2-7), 振り返りカード</p>
--

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<p>・挨拶をする。</p> <p>【Let's Play 1】 Three-Hint Quiz p.10, 11</p> <p>・指導者が出すヒントを聞いて、行事名を答える。</p>	<p>・全体に挨拶し個別に数名の児童に挨拶する。</p> <p>・本時のめあてと流れを児童と確認する。</p> <p>・前時と同じ要領で、児童用テキスト p.10, 11 にある行事等について Three-Hint Quiz をする。</p> <p>T: Let's enjoy Three-Hint Quiz. I'll give you three hints about a festival or an event on page 10 and 11. Please guess.</p> <p>・祭りに関する3つのヒント (開催される季節, 月日, 楽しめること, 感想など) を出す。</p> <p>・指導者は、以下の表現を使う。</p> <p>We have this event in (season / month).</p> <p>You can enjoy ... in (place).</p> <p>It's</p> <p>・感想を言う際に教師用カードを黒板に掲示する。</p>	<p>デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (状態・気持ち)</p>
<p>Let's play "Three-Hint Quiz!"</p> <p>Question No.1: What's this event? Can you guess?</p> <p>Hint 1: We have this event in summer.</p> <p>Hint 2: You can enjoy watching beautiful stars.</p> <p>Hint 3: Hikoboshi and Orihime meet each other on the night. (the Tanabata Festival)</p> <p>Question No.2: What's this event? Can you guess?</p> <p>Hint 1: We have this event in winter.</p> <p>Hint 2: You can enjoy seeing great snow art.</p> <p>Hint 3: This event is in Sapporo in February. (the Snow Festival)</p> <p>Question No.3: This event is not in your textbook. Can you guess?</p> <p>Hint 1: We have this event in spring.</p> <p>Hint 2: You can enjoy seeing beautiful cherry blossoms.</p> <p>Hint 3: You can enjoy eating obento under the beautiful trees. (hanami)</p>		<p>他のヒント例</p> <p>Snow Festival: Sapporo, snow, beautiful, February</p> <p>Kanto Festival: Akita, <i>chochin</i>, beautiful, August</p> <p>Nebuta Festival: Aomori, cool, August</p> <p>Tanabata Festival: Sendai, decoration, beautiful, August</p> <p>Kanda Festival: Tokyo, <i>dashi</i>, great, May</p> <p>Awaodori: Tokushima, dancing, fun, August</p> <p>Nagasaki Kunchi Festival: Nagasaki, <i>dashi</i> and <i>jaodori</i>, exciting, October</p>	
5分	<p>【Let's Play 2】 Key-Word Game p.10, 11</p> <p>・指導者が言う文を繰り返して言う。あらかじめ決めておいたキーワード (感想) が言われた場合は、繰り返さず、ペアの間に置いた消しゴムを取る。</p>	<p>・感想のキーワードを決め、指導者が次の英文を言う。</p> <p>T: We have (行事名, 祭り名) in (季節あるいは月).</p> <p>It's ... (その行事等の感想).</p>	<p>教師用カード (状態・気持ち)</p>

5分	<p>【Let's Watch and Think 1】 p.12</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1時と同様に、別の2人の登場人物が自国のことについて話している映像を視聴し、各国の行事や食べ物などの話の内容に合うように、誌面上の絵を線で結ぶ。 ・2回程度繰り返して聞いた後に、答えを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単なる聞き取りの練習にならないようにするために、音声を聞かせる前に、「エジプトはどんな食べ物がおいしいと思うか」「Muhammad はどこの国の子だと思うか」などと問い、予想をさせてから聞かせるようにする。 <p>T: Let's watch the video.</p> <p>Where is Muhammad from?</p> <p>What food is delicious in Egypt?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞かせる際は、1回目は全体を通じて、2回目は区切って聞かせるなど、児童の様子に応じて聞かせ方を工夫する。 ・聞かせた後は、内容について Do you know mulukhivah soup in Egypt? What do you do in Christmas? など、内容について児童とやり取りをし、内容をより理解できるようにするとよい。 	デジタル教材 児童用テキスト
<p>ムハンマド : Hello, welcome to Egypt. My name is Muhammad. Nice to see you again. We have a wonderful soup in Egypt. It's mulukhiyah soup. It's very healthy. I like it very much.</p> <p>ジョン : Hello, welcome to Australia. I'm John. Nice to meet you. We have Christmas in summer. We spend the time with our families. We usually have barbecue at home.</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・答えの確認は、次のように指導者の後に続けて言わせる形で行うとよい。 <p>T: I have some questions about John. Where is he from? He is from ...? In Australia, Christmas is in ...? In Christmas, people have ...? Cake?</p>	
7分	<p>【Let's Listen 1】 p.12</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の四季の行事や祭りについて話を聞く。1回目は児童用テキストを閉じて聞く。 ・2回目は児童用テキストを見ながら聞き、内容に合うように口に番号を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童にとって身近な話題であるため、聞かせる前には、Japan has many events or festivals. In spring, we have ...? In summer, we have ...? などと尋ね、背景知識や生活経験を想起させることも有効である。その上で、「4人の登場人物はどんな行事や祭りのことを話しているかな」などと問いかけ、予想をさせてから聞かせるとよい。 <p>T: Let's listen to the talk. First, close your textbooks. Just listen. Then, you can open your textbooks and look at them.</p>	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (状態・気持ち)
<p>No.1: Hello. I'm Kenta. I like Japan very much. In autumn, we have <i>momijigari</i>. The trees change colors. The leaves go red, yellow and brown. The colored leaves are very beautiful.</p> <p>No.2: Hello. I'm Satoshi. I like Japan very much. In winter, we have snow festivals. You can make a <i>kamakura</i>. It's fun and the <i>kamakura</i> is warm inside.</p> <p>No.3: Hello. I'm Kosei. I like Japan very much. In summer, we have fireworks festivals. You can wear <i>yukata</i> and <i>geta</i>. The fireworks are very beautiful and exciting.</p> <p>No.4: Hello. I'm Aoi. I like Japan very much. In spring, we have <i>hanami</i>. You can see beautiful cherry blossoms all over Japan. We go on a picnic in the park.</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・聞き終わった後、四季の行事等について、どう思うかを児童に尋ねる。感想の言い方を繰り返し聞かせ、児童 	

		<p>が自ら言うよう促す。</p> <p>T: In spring, we have <i>hanami</i>.</p> <p>It's ...? Fun? Beautiful? Exciting? (教師用カード示しながら)</p> <p>◎日本の行事についてまとまりのある話を聞き、それらが行われる季節や楽しめることなどが分かり、番号を記入している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	
5分	<p>[Let's Chant] Welcome to Japan.</p> <p>p. Winter, spring, summer, and autumn. } ※ ※Repeat Winter, spring, summer, and fall. } We have festivals in autumn. We have festivals in spring. You can enjoy a full moon viewing. You can enjoy <i>hanami</i>. It's nice. It's beautiful. ※Repeat ※Repeat We have festivals in winter. We have festivals in summer. You can enjoy <i>osechi</i>. You can enjoy fireworks. It's delicious. It's exciting.</p>	<p>・まず、デジタル教材で音声を聞かせ、四季にそれぞれどんな行事が聞こえたか、それはどのようなかを問いかけて、児童に聞こえた単語を言うよう促す。</p> <p>T: In spring, we have ...? It's fun? Beautiful? ・チャンツの意味をおおよそ理解できたところで、言えるところから言うよう促す。</p>	<p>デジタル教材 教師用カード (状態・気持ち) 教師用カード (季節)</p>
5分	<p>○どの季節にどの行事や祭りをするか考えて言おう。</p> <p>・進め方を理解し、ペアで行う。</p>	<p>・教師用カード(季節)を児童とその言い方を確認しながら、黒板に掲示する。次に、指導者は教師用カード(行事・祭り)を見せながら、Which season? と尋ね、児童の答えやつぶやきを拾いながら、We have ... in ~. と言い、黒板に掲示してある教師用カードの下にそのカードを掲示する。これを2, 3回繰り返し、児童にペアで同様にカードを合わせるように言う。</p>	<p>教師用カード (季節, 行事・祭り) 児童用カード (季節, 行事・祭り)</p>
	<p>進め方</p> <p>・児童用カード(季節) 2セットを束にし、裏返して中央に置く。児童用カード(行事・祭り)は絵を上にして並べておく。</p> <p>・2人で協力して行う。中央からカードをめくり、その季節に合う行事・祭りの児童用カードを探して、We have (行事・祭り) in (季節). と言って、カードを合わせる。</p>		
	<p>We have New Year's Day in winter / Dolls' Festival in spring / <i>hanami</i> in spring / Children's Day in spring / fireworks festivals in summer / autumn (fall) festival in autumn (fall) / snow festivals in winter.</p>	<p>◎日本の行事について、それがどの季節に行われるかを言っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	

5分	<p>【Let's Read and Write】 p.16 書く文例：We have (snow festival). ・音声を聞きながら読んだ(言った)後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。</p>	<p>・本時に何度も聞いたり言ったりした文を前時と同じような流れでワークシートに書き写させる。 T: Please listen to the sentence and look at the sentence on the worksheet. Listen to the sentence again and read it. What do we have? Choose the words from the word box and write them down.</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 2-2)
5分	<p>○Sounds and Letters (d) ・ジングルを1通り聞く。 ・誌面にある /d/ で始まる単語を見て、発音する。その音で始まる単語を制限時間内に発表し合う。 ・ワークシートの4線上にdの文字を書く。</p>	<p>・(時間に余裕があれば) ジングルを聞かせる。(※1) T: Listen to the jingle. Look at the pictures on the worksheet. Please repeat after the jingle. ・サウンド・テニス(※2)をすることを告げる。 T: Let's play Sound Tennis. Think about any words starting with /d/. Now, say the words within five seconds. ・まず、指導者と児童全員で行い、児童が慣れてきたらペア対抗で行わせたり、制限時間を短くしていったりなどするとよい。 ・ワークシートの4線上にdの文字を書くよう指示する。 T: Please write the letter 'd'.</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 2-7)
3分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。</p>	振り返りカード

<Sounds and Letters について>

- ※1 ジングルは、5年生は新教材の誌面及びデジタル教材で扱われており、6年生は新教材のデジタル教材のみに収録されている。
- ※2 サウンド・テニスとは、学習している音(ここでは /d/)への気付きを高め、既習単語を復習することを目的とした活動である。

サウンド・テニスの進め方

- ① 2つのグループに分かれる。児童の実態に応じて、また、この活動に取り組み始めて間もない頃は、指導者対児童で行うことも考えられる。
- ② 学習している音(ここでは /d/)から始まる単語を考える。
- ③ 学習している音(/d/)から始まる単語を制限時間内に言うことができるように競う。(Five, four, three, two, one, time is up! などと指でカウントしながら時間が経つことを伝えるとよい。)
- ④ 制限時間内に単語が言えないグループが負けとなる。

6年 Unit 2-Lesson 3 単元名 Welcome to Japan. 日本の文化 3/8時間

目 標 食べ物とその味覚などについて話を聞いて、その内容が分かったり、言ったりすることができる。

準 備 児童用テキスト, 児童用カード (食べ物, 味覚), ワークシート (Unit 2-3), デジタル教材, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
6分	<p>・挨拶をする。</p> <p>OSmall Talk : 好きな日本の行事とその理由</p> <p>S1: What event do you like? S2: I like the firework festival. S1: You like the firework festival. Why do you like it? S2: It's beautiful. I like big fireworks. ...</p>	<p>・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。</p> <p>・本時のめあてと流れを児童と確認する。</p> <p>・指導者が自分の好きな日本の行事とその理由を簡単に紹介し、ペアで対話をさせる。</p> <p>・1回目活動→指導→2回目活動(1回目と違う相手)</p> <p>※Small Talk の指導の具体や発話例については、「研修ガイドブック」p.84, 85 を参照。</p>	
10分	<p>【Let's Watch and Think 2】 p.13</p> <p>・デジタル教材で音声を読み、日本食について分かったことを誌面に記入する。</p> <p>・答えを確認する。</p>	<p>・デジタル教材で、1回目は児童用テキストを閉じさせて音声だけを聞かせる。2回目は児童用テキストを開いて聞かせ、日本食について分かったことを誌面に記入するよう言う。映像は、3人の日本人の子供が日本の食文化を外国人に紹介している内容である。</p> <p>・児童に、Japan has a lot of delicious food. We have <i>sushi, soba, and ...?</i> などと聞いて、日本食についての背景知識を引き出しながらか見通しをもたせた後、視聴させる。</p> <p>・聞かせた後は、内容について Do you like <i>sushi</i>? What <i>sushi</i> do you like? Do you eat <i>miso</i> soup every day? など、内容について児童とやり取りをするとよい。</p>	デジタル教材 児童用テキスト
<p>天ぷら: Hello. I'm Kenta. I like Japan very much. We have delicious food in Japan. I like <i>tempura</i> very much. Try and make it! It's very tasty.</p> <p>味噌汁: Hello. I'm Aoi. I like Japan very much. We have delicious food in Japan. I like <i>miso</i> soup very much. I eat <i>miso</i> soup every morning. It's very healthy. Can you make it?</p> <p>寿司 : Hello. I'm Saki. I like Japan very much. We have delicious food in Japan. I like <i>sushi</i> very much. You can enjoy it at a <i>sushi</i> restaurant. You can make it at home, too. It's delicious.</p>			
4分	<p>【Let's Chant】 Welcome to Japan. p.13</p> <p>・デジタル教材を視聴しながら、音声に続いてチャンツを、言えるところから言う。</p>	<p>Winter, spring, summer, and autumn. } ※ Winter, spring, summer, and fall. } We have festivals in spring. You can enjoy <i>hanami</i>. It's beautiful. ※Repeat We have festivals in summer. You can enjoy fireworks. It's exciting.</p> <p>※Repeat We have festivals in autumn. You can enjoy a full moon viewing. It's nice. ※Repeat We have festivals in winter. You can enjoy <i>osechi</i>. It's delicious.</p>	デジタル教材

7分	○マッチング・ゲーム マッチング・ゲームの進め方 <ul style="list-style-type: none"> ・ペアの1人が食べ物, もう1人が味覚の児童用カードの束を持つ。 ・それぞれが相手に見えないように, 自分の束から1枚を選び, それぞれ “We have ice cream.” “It’s sweet.” のように言う。それらの意味が合えば, マッチしたものとしてカードを横へ置いておく。もし, “We have ice cream.” “It’s salty.” のように意味が合わなければカードをそれぞれの束に戻す。 ・時間内にたくさんマッチさせることができたペアの勝ち。 	<ul style="list-style-type: none"> ・代表児童と進め方を示して理解させる。 <p>◎食べ物とその味覚を言っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	児童用カード (食べ物, 味覚)
8分	【Let’s Listen 2】 p.13 <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を視聴し, 分かったことを誌面の表に記入する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>I’m Mark. I’m from America. We have <i>sushi</i> in America. It’s very popular and very healthy. I like it.</p> <p>Hello. I’m Christina. I’m from the Philippines. We have <i>tofu</i> in the Philippines. <i>Tofu</i> is very popular. It’s soft and sweet. I like it.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目は児童用テキストを閉じて音声だけを聞かせる。2回目は児童用テキストを開いて聞かせ, 日本食について分かったことを誌面に記入するよう指示する。聞かせる英文は比較的短めなので, 1回目の視聴だけで表に記入させてもよい。 <p>T: Let’s listen to the talk. First, close your textbooks. Just listen. Then, you can open your textbooks and look at them.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の後に続けて, 児童が言う形で答えを確認する。 <p>T: Mark is from ...? In America <i>sushi</i> is ...? Mark likes <i>sushi</i>? Christina is from ...? <i>Tofu</i> is ...? It’s ...? Christina likes <i>tofu</i>?</p> <p>◎登場人物の話を書いて, 食べ物とその味覚など分かったことを書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	デジタル教材 児童用テキスト
5分	【Let’s Read and Write】 p.16 書く文例: We have (<i>sushi</i>). <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞きながら読んだ(言った)後, ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに本時に何度も聞いたり言ったりした文を前時と同じような流れで書き写させる。 <p>T: Please listen to the sentence and look at the sentence on the worksheet. Listen to the sentence again and read it. What do we have? Choose the word from the word box and write it down.</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 2-3)
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

<p>6年 Unit 2-Lesson 4 単元名 Welcome to Japan. 日本の文化 4/8時間</p> <p>目 標 日本の食べ物について、その味覚やその食べ物に関してできることを話す。</p> <p>準 備 デジタル教材、児童用テキスト、ワークシート (Unit 2-4, 2-8)、児童用カード (食べ物、味覚)、振り返りカード</p>
--

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
6分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>[Let's Chant] Welcome to Japan. p.13</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材を視聴しながら、音声に続いてチャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 児童と一緒にチャンツを言う。 	デジタル教材
<p>Winter, spring, summer, and autumn. } ※</p> <p>Winter, spring, summer, and fall. } ※</p> <p>We have festivals in spring.</p> <p>You can enjoy <i>hanami</i>.</p> <p>It's beautiful.</p> <p>※Repeat</p> <p>We have festivals in summer.</p> <p>You can enjoy fireworks.</p> <p>It's exciting.</p>		<p>※Repeat</p> <p>We have festivals in autumn.</p> <p>You can enjoy a full moon viewing.</p> <p>It's nice.</p> <p>※Repeat</p> <p>We have festivals in winter.</p> <p>You can enjoy <i>osechi</i>.</p> <p>It's delicious.</p>	
18分	<p>[Let's Watch and Think 3] p.14</p> <ul style="list-style-type: none"> 映像資料の音声のみを数回聞いて、内容に合うように線で結んだり、分かったことを誌面に記入したりする。視聴後、解答を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> まず、登場人物が日本食について話している映像資料の音声のみを聞かせ、内容に合うように線で結ばせる。その後、映像資料を視聴し、分かったことを誌面に記入させる。最後に、再度、映像資料を視聴させる。 <p>T: Let's listen to the talk.</p>	デジタル教材 児童用テキスト
<p>はな : Hi, Mark. Do you like Japanese food? マーク : Umm. Not really. はな : Oh. Well, try this. マーク : What is this? はな : It's <i>tsukemono</i>, "pickles" in English. マーク : Uh! It's salty. I don't like it.</p> <p>はな : Hi, Emma. Do you like Japanese food? エマ : Yes, of course. I like everything. はな : Even <i>umeboshi</i>? エマ : Yes, I love <i>umeboshi</i>! It's sour, but it's really good.</p>		<p>あおい : Hi, John. Do you like Japanese food? ジョン : Umm. Not really. あおい : Oh. Well, try this. ジョン : What is it? Is it ice cream? あおい : No, it's <i>dango</i>. ジョン : Hmm. It's sweet, but sorry, I don't like it. あおい : That's OK.</p> <p>ラクシュ : Hi, Aoi. Do you like Japanese food? あおい : Yes, of course. I like everything. ラクシュ : Even <i>matcha</i>? あおい : Yes, I love <i>matcha</i>! It's bitter, but it's very healthy.</p>	
		<ul style="list-style-type: none"> 登場人物が入れ替わり対話を進めているため、誰の話であるかが分かりにくく感じる児童がいる場合は、映像資料を適宜止めるなどする。 単なる聞き取りの練習にならないように、音声を聞かせる前に登場人物を確認し、<i>Dango is sour? Sweet?</i> などと問い、予想をさせてから聞かせるようにするとよい。 聞かせた後は、内容について <i>Do you think matcha is sweet? What Japanese food do you like?</i> など、内容について児童とやり取りをするとよい。 	

8分	○マッピング・ゲーム	・前時間と同じ要領でマッピング・ゲームをする。	児童用絵カード (食べ物, 味覚)
<p>マッピング・ゲームの進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアの1人が食べ物の、もう1人が味覚の絵カードの束を持つ。 ・それぞれが相手に見えないように、自分の束から1枚を選び、それぞれ“I like ice cream.” “It’s sweet.” のように意味が合えば、続けて、マッチした食べ物について You can enjoy～. で言いたいことや言えそうなことを言う。例えば, “I like ice cream.” “It’s sweet.” でマッチした場合, “You can enjoy ice cream in summer.” “You can enjoy many toppings.” など。その後, マッチしたものとしてカードを横へ置いておく。もし, “I like ice cream.” “It’s salty.” のように意味が合わなければ, カードをそれぞれの束に戻す。 ・時間内にたくさんマッチさせることができたペアの勝ち。 			
		◎好きな食べ物とその味覚, その食べ物に関してできることを話している。] 〈行動観察・振り返りカード点検〉	
5分	【Let’s Read and Write】 p.16 書く文例 : It’s (delicious) ・音声を聞きながら読んだ(言った)後, ワードボックスから言葉を選んで書き写す。	・本時に何度も聞いたり言ったりした文を前時と同じような流れでワークシートに書き写させる。 T: Please listen to the sentence and look at the sentence on the worksheet. Listen to the sentence again and read it. Choose the word from the word box and write it down.	デジタル教材 ワークシート (Unit 2-4)
5分	○Sounds and Letters (f) ・ジングルを1通り聞く。 ・誌面にある /f/ で始まる単語を見て, 発音する。その音で始まる単語を制限時間内に発表し合う。 ・ワークシートの4線上に f の文字を書く。	・(時間があれば) ジングルを1通り聞かせる。 T: Listen to the jingle. Look at the pictures on the worksheet. Repeat the words. ・サウンド・テニスをするを告げる。 T: Let’s play Sound Tennis. Think about any words starting with /f/. Now, say the words. ・最初は指導者と児童全員で行い, 児童が慣れてきたらペア対抗で行ったり, 制限時間を短くしていったりなどするとよい。 ・ワークシートの4線上に f の文字を書くよう指示する。 T: Please write the letter ‘f’.	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 2-8)
3分	・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

6年 Unit 2-Lesson 5 単元名 Welcome to Japan. 日本の文化 5/8時間
目 標 日本の遊びについての話を聞いて内容が分かる。 好きな日本の遊びについて伝え合う。
準 備 児童用テキスト, ワークシート (Unit 2-5), デジタル教材, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>【Let's Chant】 Welcome to Japan.</p> <p>Winter, spring, summer, and autumn. Winter, spring, summer, and fall. We have festivals in spring. You can enjoy <i>hanami</i>. It's beautiful. ※Repeat We have festivals in summer. You can enjoy fireworks. It's exciting.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する 児童と一緒にチャンツを言う。 <p>※Repeat We have festivals in autumn. You can enjoy a full moon viewing. It's nice. ※Repeat We have festivals in winter. You can enjoy <i>osechi</i>. It's delicious.</p>	デジタル教材
12分	<p>【Let's Watch and Think 4】 p.14</p> <ul style="list-style-type: none"> 1回目は, 児童用テキストを閉じて聞く。 2回目は, 誌面を見ながら聞き, 内容に合うように○や△などを記入する。 3回目に映像資料を視聴する。 	<ul style="list-style-type: none"> 1人の日本の子供が, 日本に古くからある遊びを外国人に紹介している映像資料の音声のみを聞かせ, 内容に合うように□に, ○や△を記入させる。その後, 映像資料を視聴させる。 <p>T: Let's listen to the talk.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A is called...など未習語も一部含まれるが, ここでは, やり取りを聞かせることを優先させており, 未習語があっても, 必要な情報(したこと, 感想)を聞き取らせることは十分にできる。児童には, 全ての文を分かろうとしなくてよいこと, 聞き取れた語彙をつなぎ合わせて, 全体のおおよその意味を理解すればよいことを伝える。 ・デジタル教材の音声資料ことどまらず, 同じ学年の教師など, 児童の身近な人物が好きな遊びは何かなどを聞く活動を行うこともできる。その際, 事前にどんな遊びが好きかを予想させると, 「答えを知りたいから聞こう」という意識をもって聞かせることができる。 	デジタル教材 児童用テキスト
	<p>No.1: I like flying kites very much. A kite is <i>tako</i> in Japanese. I enjoy <i>takoage</i> on New Year's Day with my family. It's fun. I'm good at it.</p> <p>No.2: I like <i>komamawashi</i>, too. It's difficult. I'm not good at it, but I like it. I enjoy it with my friends.</p> <p>No.3: I don't like <i>origami</i>. It's very difficult. I'm not good at it.</p> <p>No.4: I'm very good at <i>daruma doll otoshi</i>. It's so exciting. My sister and I like it so much.</p> <p>No.5: I like juggling beanbags, <i>otedama</i>. I'm not good at it. I can't catch them well.</p>		
		◎日本の遊びには何があるか, その遊びが得意かどうかなどを聞いて, 誌面に○や△を記入している。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検>	

20分	<p>OLet's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者による行事の紹介を聞きそれについての質問に答える。 ・自分が紹介したい行事を選び、どのような内容を話すかを準備・整理し、ペアで対話する。 <p>S1: What (traditional) event do you like?</p> <p>S2: I like <i>hanami</i>. <u>We have <i>hanami</i> in Japan. You can enjoy <i>sakura</i> in spring. It's beautiful.</u> Do you like <i>hanami</i>?</p> <p>S1: Yes, I do.</p> <p>S2: Why?</p> <p>S1: It's beautiful.</p> <p>S2: I think so, too. What event do you like?</p> <p>S1: I like summer festivals. <u>We have summer festivals in Japan. You can enjoy fireworks in summer. It's exciting!</u> Do you like summer festivals?</p> <p>S2: Yes, I do.</p> <p>S1: Why?</p> <p>S2: I like fireworks and I can wear <i>yukata</i>.</p> <p>S1: You like <i>yukata</i>. That's good.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次のように何人かの児童とやり取りしながら、児童同士の対話へとつなげる。 <p>T: Now let's talk about Japanese events.</p> <p>What traditional event do you like? I like New Year's Day. We have New Year's Day in Japan. You can enjoy (eating) <i>osechi</i> in winter. It's delicious. S1, do you like New Year's Day? ...</p> <p>※左記対話例の下線部分については、児童用テキストの例やこれまで書いてきた英文などを参考にしながら、どの行事についてどのようなことを伝えるのかを準備してから対話に臨ませる(対話の前に1分程度、準備するための時間を取る)。</p> <p>※英文を書いて準備するといったことはせず、何を伝えるのかを頭の中で整理するにとどめる。</p> <p>◎日本の行事やその行事で楽しむことなどについて伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	児童用テキスト
5分	<p>【Let's Read and Write】 p.16</p> <p>書く文章: <u>We have (<i>shogi</i>).</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞きながら読んだ(言った)後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに本時に何度も聞いたり言ったりした文を前時と同じような流れで書き写させる。 <p>T: Please listen to the sentence and look at the sentence on the worksheet. Listen to the sentence again and read it. What do we have? Choose the word(s) from the word box and complete the sentence.</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 2-5)
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

6年 Unit 2-Lesson 6 単元名 Welcome to Japan. 日本の文化 6/8時間

目 標 好きな日本の食べ物について伝え合う。

準 備 教師用カード (飲食物), 児童用テキスト, ワークシート (Unit 2-6, Unit 2-9), デジタル教材, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 <p>【Let's Chant】 Welcome to Japan. p.13</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材に合わせてチャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶し個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。 ・児童と一緒にチャンツを言う。 	デジタル教材
	Winter, spring, summer, and autumn. } Winter, spring, summer, and fall. } ※ We have festivals in spring. You can enjoy <i>hanami</i> . It's beautiful. ※Repeat We have festivals in summer. You can enjoy fireworks. It's exciting.	※Repeat We have festivals in autumn. You can enjoy a full moon viewing. It's nice. ※Repeat We have festivals in winter. You can enjoy <i>osechi</i> . It's delicious.	
12分	<p>【Let's Watch and Think 5】 p.15</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目は, 児童用テキストを閉じて聞く。 ・2回目は, 児童用テキストを見ながら聞き, 分かったことを書く。 ・3回目に映像資料を視聴する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の1人が日本の伝統文化(落語, 歌舞伎, 相撲)を外国人に紹介している映像を視聴し, 分かったことを誌面の吹き出しに記入する活動である。児童にとってあまり馴染みがないことも考えられるので, 聞かせる前に, 「落語についてどんなことを知っているか」と投げかけ, 日本語でよいので知っていること等を発表させるとよい。また, これらのことについて児童とやり取りをして, ある程度の子備知識をもたせる。 ・音声を聞かせる際は, 話題のまとまりごとに区切って聞かせるなど, 児童の様子に応じて聞かせ方を工夫する。 ・その後, 映像資料を視聴させる。 <p>T: Let's listen to the talk.</p>	デジタル教材 児童用テキスト
	けんた: Hello. I'm Kenta. I like Japan very much. In Japan you can enjoy traditional arts. ① 落語 : <i>Rakugo</i> is a storytelling. <i>Rakugo</i> tellers tell interesting stories. Some stories are funny and others are sad. The tellers use only a fan, <i>sensu</i> , and a towel, <i>tenugui</i> . The fan can be a pen, chopsticks or a sword. It's great fun. ② 歌舞伎 : <i>Kabuki</i> is a kind of drama. <i>Kabuki</i> actors wear special make-up and beautiful <i>kimonos</i> . They dance with music, too. Only men can act on stage. It's very interesting. ③ 相撲 : <i>Sumo</i> is a kind of wrestling. <i>Sumo</i> wrestlers are usually big and heavy. They are very strong, too. They can only wear <i>mawashi</i> . They push each other out of the ring.	<ul style="list-style-type: none"> ・数回視聴させて分かったことを書かせることになるが, 話題が児童にとってそれほど身近ではなく内容を推測しにくいこと, また未習語が使用されていることなどから, どこまで理解させたり, 書かせたりするかは, 児童の実態に応じて判断する。 	
15分	<p>OLet's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者による食べ物の紹介を聞 	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物の紹介をし, 何人かの児童とやり取りをしながら, 児童同士の対話へとつなげる。 	教師用カード (飲食物)

	<p>き, それについての質問に答える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が紹介したい食べ物を選び, どのような内容を話すかを準備・整理し, ペアで対話する。 <p>S1: What Japanese (traditional) food do you like? S2: I like <i>soba</i>. <u>We have <i>soba</i> in Japan. You can enjoy hot and cold <i>soba</i>. It's delicious.</u> Do you like <i>soba</i>? S1: Yes, I do. S2: Why do you like it? S1: (It has) many toppings. S2: What topping do you like? ...</p>	<p>T: Now let's talk about Japanese food. What Japanese food do you like? I like <i>tempura</i>. We have <i>tempura</i> in Japan. You can enjoy many kinds of <i>tempura</i>. It's delicious. I like seafood <i>tempura</i>. S1, do you like <i>tempura</i>? ...</p> <ul style="list-style-type: none"> 左記対話例の下線部分については, 児童用テキストの例やこれまで書いてきた英文などを参考にしながら, どの食べ物について, どのようなことを伝えるのかを準備してから対話に臨ませる(対話の前に1分程度, 準備するための時間を取る)。 ※英文を書いて準備するといったことはせず, 何を伝えるのかを頭の中で整理することとどめる。 ◎好きな日本の食べ物とその味覚などについて伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉 	
5分	<p>【Let's Read and Write】 p.16 書く文例: We have (<i>kabuki</i>)</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材の音声聞きながら読んだ(言った)後, ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時に何度も聞いたり言ったりした文を前時と同じような流れでワークシートに書き写させる。 <p>T: Please listen to the sentence and look at the sentence on the worksheet. Listen to the sentence again and read it. What do we have? Choose the word from the word box and write it down.</p>	ワークシート (Unit 2-6)
5分	<p>OSounds and Letters (g)</p> <ul style="list-style-type: none"> ジングルを1通り聞く。 誌面にある /g/ で始まる単語を見て, 発音する。その音で始まる単語を制限時間内に発表し合う。 <p>・ワークシートの4線上に g の文字を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> (時間があれば) ジングルを1通り聞かせる。 <p>T: Listen to the jingle. Let's say the jingle together. Look at the pictures in the textbook. Repeat the word.</p> <ul style="list-style-type: none"> サウンド・テニスをすることを告げる。 <p>T: Let's play Sound Tennis. Think about any words starting with /g/. Now, say the words.</p> <ul style="list-style-type: none"> 最初は教師と児童全員で行い, 児童が慣れてきたらペア対抗で行ったり, 制限時間を短くしていったりなどするとよい。 ワークシートの4線上に g の文字を書くよう指示する。 <p>T: Please write the letter 'g'.</p>	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 2-9)
3分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返り, カードに記入する。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 挨拶をする。 	振り返りカード

6年 Unit 2-Lesson 7 単元名 Welcome to Japan. 日本の文化 7/8時間

目 標 紹介したい日本文化について、その名称や特徴などを表す語を、例を参考に書く。

準 備 児童用テキスト、ワークシート (Unit 2-1~2-6)、デジタル教材、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
8分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 <p>OSmall Talk : 好きな/見てみたい日本の伝統芸能・文化とその理由</p> <p>S1: What Japanese traditional arts do you want to see?</p> <p>S2: I like <i>kabuki</i>. It's fun.</p> <p>S1: You like <i>kabuki</i>. Good.</p> <p>S2: How about you? What traditional Japanese arts do you want to see?</p> <p>S1: I want to see <i>rakugo</i>.</p> <p>S2: Me, too!</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。 ・指導者が自分の好きな/見てみたい日本の伝統芸能・文化とその理由を簡単に紹介し、ペアで対話をさせる。 ・1回目活動→指導→2回目活動（1回目とは違う相手） <p>※Small Talk の指導の具体や発話例については、「研修ガイドブック」p.84-85を参照。</p>	
14分	<p>【Let's Watch and Think 6】 p.15</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を視聴し、指導者の質問に答える。 	<p>あおい : We have <i>hanami</i> in spring. You can enjoy it in spring. It's beautiful.</p> <p>外国人男性 : That sounds great! I want to enjoy it. What food do you have in Japan?</p> <p>あおい : We have <i>soba</i>. You can eat it in restaurants. It's delicious.</p> <p>外国人男性 : I want to try it! Thank you. What games do you have in Japan?</p> <p>あおい : We have <i>fukuwarai</i>. You can play it on New Year's Day. It's fun.</p>	デジタル教材 児童用テキスト
		<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物が日本について外国人に説明をしている様子を視聴させた後、日本のよさについて児童に質問をし、児童の答えやつぶやきを拾いながら、児童とやり取りをする。 	
	<p>やり取りの例</p> <p>T: We have <i>hanami, soba, fukuwarai, ...</i>, nice festivals, delicious foods, nice traditional events in Japan. I like <i>matcha</i> and <i>wagashi</i>. Do you like <i>wagashi</i>? What Japanese food do we have in Japan?</p> <p>S: <i>Mitarashi-dango</i>?</p> <p>T: Yes, we have <i>mitarashi-dango</i>. Do you like it? It's ...? Delicious. Sweet. That's right. I like it, too.</p>		
20分	<p>【Activity】 p.16</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアになり、何を紹介するのかを考える。児童用テキストやワークシートなどにある今まで学習した表現を理解し、ポスター作成に役立てる。 ・ポスターは、これまで書きためたワークシートや誌面などを参考に、紹介する際の掲示資料にふさわしく見やすく単語を書いたりしてオリジナルのものを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで日本のことについて聞いたり話したりしてきたことをもとに、日本紹介の英語のポスターを作って、日本のことを紹介しようと呼びかける。 ・今までの活動をもとに、ペアで何を紹介するのかを決めるよう言い、ペアで日本紹介ポスターを作成させる。 ・ポスターを使いながら日本を紹介する練習をさせる。 ・ここでのポスターとは、次時で互いの好きな行事を紹介し合う際の掲示資料として用いるものであるため、英語の単語レベルで例を参考に書くこととし、英 	児童用テキスト ワークシート (Unit 2-1~2-6)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターを使いながら日本を紹介する練習をする。 	<p>文を書くことはしない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各ペアで作成したポスターを集めてガイドブックを作るという単元終末のゴールについて再度確認する。「ガイドブック」という性質上、読み手が多様な事物について知ることができるよう、「行事」「食べ物」「遊び」について、ある程度均等に紹介できるよう（つまり「寿司の紹介ばかり」「けん玉の紹介ばかり」など偏らないよう、この段階で分担することも考えられる。 ・活動に目的をもたせるため、例えば、「ツアーガイドになって、外国人観光客に日本を紹介する」という場面を設定することも考えられる。 ・1人で行うか2人1組で行うかは、児童の実態に応じて適切に判断する。 <p>◎紹介したい日本文化について、その名称や特徴などを表す語を、例を参考に書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り，振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

6年 Unit 2—Lesson 8 単元名 Welcome to Japan. 日本の文化 8/8時間

目 標 日本の行事, 食べ物, 遊びなどを紹介したり, 例を参考に紹介する文を書いたりする。

日本の行事, 食べ物, 遊びなどを紹介したり, 例を参考に紹介文を書いたりしようとする。

準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, ワークシート (または日本紹介ガイドブック用の紙), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
15分	<p>【Activity】 p.16</p> <p>・作成したポスターを使い, 日本紹介を行う。</p> <p>・1人で, または2人1組で行う。</p> <p>S1: Let's talk about Japan. S2: OK. S1: My turn. (ポスターを見せながら) I like <i>sushi</i>. <u>We have <i>sushi</i> in Japan. You can enjoy many kinds of <i>sushi</i>. It's delicious and healthy.</u> Do you like <i>sushi</i>? S2: Yes, I do. S1: What <i>sushi</i> do you like? S2: I like tuna. S1: You like tuna. I see. S2: My turn. I like <i>hanami</i>. <u>We have <i>hanami</i> in Japan. You can enjoy <i>sakura</i> in spring. It's beautiful.</u> Do you like <i>hanami</i>? S1: Yes, I do. It's beautiful, but I don't like spring. S2: Why not? S1: I have 花粉症. S2: Oh, that's too bad. ...</p>	<p>・1人で, またはペアで取り組ませる。</p> <p>・まず, ポスターを使いながら日本を紹介する練習をする。</p> <p>・左記対話例の下線部分については, 何について, どのような英語表現を用いて話すか, 前時にある程度準備や練習をさせておく。</p> <p>・やり取りを行うごとに, 必要に応じて, 以下の指導を行う。</p> <p>①伝えたい内容について, どのように言えばよいか分からないことはないかを尋ね, 日本の行事や食べ物, 遊びなどについてより詳しく伝えるのに必要な英語表現を全体で確認する。</p> <p>②児童の分からなかったことが既習表現で言えそうな場合は, 指導者がすぐに教えるのではなく, 学級全体に問いかけ, 一旦児童同士で考えさせてから全体で確かめるなどして, 既習表現を想起させる場をつくる。</p> <p>③自分が紹介したものについて好きかどうかを相手に尋ねるだけでなく, さらに質問をするなど, 学級全体で共有したい発表のポイントについては, 指導者が全体の場でその児童に問いかけてやり取りし, やり取りを聞かせることで気付かせる。</p> <p>④相手の話した内容を繰り返しているか, 一言感想を伝えているか, 相手の好みなどについてさらに詳しく尋ねる質問をしているかなど, やり取りのポイントを確認する。</p> <p>※児童が伝えたい内容が複雑すぎて, 既習表現や簡単な語句で表現するのが難しい場合は, 日本語を用いてもよいこととするが, 日本語ばかりになってしまうよう, まずは伝えたい内容を簡潔にして, 既習表現を使って表現できないかを考えるよう促す。</p> <p>◎他者に配慮しながら, 紹介したい日本の行事, 食べ物, 遊びなどについて話している。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	前時に作成したポスター
15分	<p>OLet's Write</p> <p>・ワークシートやポスターを参考に, 前活動で日本について紹介したことを書く。</p>	<p>・ポスターを集めて, 日本について紹介するガイドブックを作成するという目的を再確認する。</p> <p>・学校に来ている ALT など, 読み手を具体的に設定することで, 「丁寧に書くことで, 相手に分かりやすく読んでもらえる」という相手意識をもたせるようにする。</p>	ワークシート (またはガイドブック用の紙)

		◎紹介した日本の行事, 食べ物, 遊びなどについて, 語順を意識しながら例を参考に書いている。〈行動観察・記述観察・振り返りカード点検〉	
10分	<p>【STORY TIME】 p.17</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材でライム (押韻) の単語とそれらが含まれる文を2～3回聞く。 音声の後に続いて言う。 ライム (押韻) している単語だけを読み出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 本単元で学習した表現が含まれている文を読むようにし, ライム (押韻) を通して子音の復習と母音への気付きを高める。ここで取り扱うライム (押韻) は /-en/。 <p>T: Listen to the rhyme. Repeat after that. Repeat after the rhyming words.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>外国人観光客: Oh, this is a nice <i>kabuki</i> pen! I love <i>kabuki</i>. How much is it? 店員 : Ninety yen. 外国人観光客: May I have ten? 店員 : Sure.</p> <p>Nine hundred yen for ten pens.</p> </div>	デジタル教材 児童用テキスト
3分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 挨拶をする。 	振り返りカード